

FRB、3会合連続の大幅利上げ

ポイント① 3会合連続、0.75%の利上げ

FRB（米連邦準備制度理事会）は、9月20-21日に開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）で、FF（フェデラル・ファンド）金利の誘導目標を、3.00～3.25%に引き上げることを決定しました。パウエル議長は、物価安定の回復を最優先とし、金融引き締めを維持する姿勢を示しました。また、2022年の経済成長率見通しを前回6月の1.7%から0.2%に大幅に下方修正しており、景気よりもインフレ抑制を重視するFRBの姿勢がうかがえます。

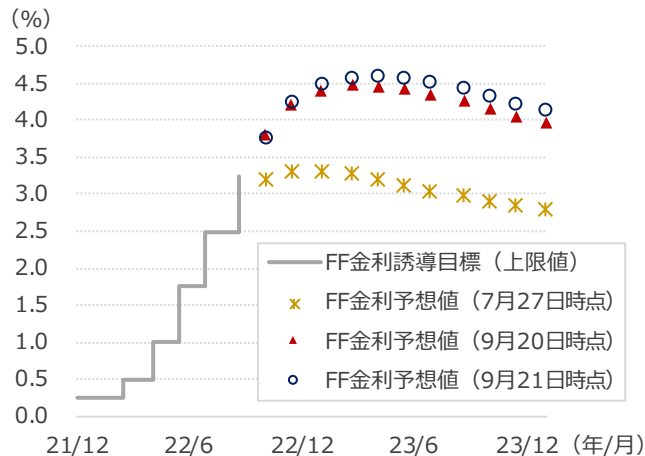
ポイント② 米政策金利見通しを引き上げへ

FRBはFOMCメンバーによる政策金利見通しを改訂し公表しました。それによると、2023年末の政策金利見通し（中央値）を前回6月よりも0.8%引き上げ、4.6%としました。一方、FFレート先物が示すFF金利予想値では、市場が予想しているピークが、7月27日時点の3.3%から、9月21日時点で4.6%近辺まで大きく引き上がりました。

ポイント③ 調整が続く、米国市場

21日の米国市場は、S&P500種株価指数が大幅続落、債券市場については、米2年国債利回りが4.048%と、2007年以来の高水準となった一方で、米10年国債利回りは景気後退懸念を受け、低下しました。市場では既に今回の利上げを織り込んでいましたが、更なるFRBの金融引き締め姿勢により、もう一段の調整の可能性があります。今後は利上げの効果を見極めつつ、インフレ率などの程度低下していくのかに注目があつまります。

米国の政策金利の推移



期間 FF金利誘導目標：2021年12月31日～2022年9月21日、日次
 FF金利予想値：2022年11月～2024年1月までのFOMC後のレート
 FF金利予想値はFFレート先物から算出した各時点におけるFFレートの予想値。7月27日は7月のFOMC結果公表日当日、9月20日、21日は9月のFOMC結果公表日前日と当日。
 (出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

FOMCメンバー 政策金利見通し (中央値) ※

| | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 2022年6月時点 | 3.4% | 3.8% | 3.4% |
| 2022年9月時点 | 4.4% | 4.6% | 3.9% |

※ 目標レンジ中央値
 (出所) FRB資料より野村アセットマネジメント作成

米国の株式と債券市場の推移



期間：2021年12月31日～2022年9月21日、日次
 (出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要イベント
 9月27日 米コンファレンスボード消費者信頼感指数 (9月)
 9月30日 米PCE (個人消費支出) コアデフレーター (8月)

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。